

### III フォローアップ事業実績

1 帰国研修員巡回指導

巡回指導は、帰国研修員に対するフォローアップ事業の一環として、主として現在継続している集団コースに参加した帰国研修員の所属機関及び関係機関を訪問し、現地での技術指導を行うとともにわが国で実施した研修の効果を測定し、また当該研修分野に係る当該国の技術的問題点及びニーズを把握することにより、今後の研修員受入事業並びにフォローアップ事業の向上改善を目的とする。

(1) 昭和55年度帰国研修員巡回指導実施実績

チーム名	派遣期間	関係省庁	対象コース	訪問国名	人数	指導員氏名	備考
1) 職業訓練指導員養成	55. 9. 20 ~ 55. 10. 9	労働省	職業訓練指導員養成コース	ケニア スーダン	3名	○職業訓練大学校講師 柴 沼 克 哉 ○職業訓練大学校国際協力部管理係長 浜 田 和 彦 ○国際協力事業団八王子国際研修センター研修課職員 吉 田 重 定	現地指導セミナー ○カンオ電子計算機 16台
2) 医療放射線技術	55. 10. 16 ~ 55. 10. 31	文 部 省	医療放射線技術コース	ビルマ スリランカ	3名	○大阪大学医療技術短期大学部教授 小 竹 武 ○文部省学術国際局ユネスコ国際部企画連絡課庶務係長 河 野 憲 司 ○大阪大学医療技術短期大学部助手 森 川 薫 ○国際協力事業団大阪国際研修センター研修課職員 服 部 一 平	現地指導セミナー
3) 廃棄物処理	55. 11. 6 ~ 55. 11. 21	厚生省	廃棄物処理コース	タイ マレーシア	3名	○(財)日本環境衛生センター教務部長 島 崎 昭	

チ ャ ム 名	派 遣 期 間	関 係 省 庁	対 象 コ ー ス	訪 問 国 名	人 数	指 導 員 氏 名	備 考
						<ul style="list-style-type: none"> <li>○厚生省水道環境部環境整備課技術係長 木 下 正 明</li> <li>○国際協力事業団研修事業部研修第二課職員 渡 部 義 太 郎</li> </ul>	
4) 受入一般	55. 11. 21. ~ 55. 12. 7	外 務 省	受入一般	ケニア タ イ	1 名	○外務省経済協力局技術協力第一課 津 川 清 一	
5) 経済開発セミナー	55. 12. 2. ~ 55. 12. 17	経済企画庁	経済開発セミナー	インドネシア タ イ	2 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>○経済企画庁調整局経済協力第二課長 西 谷 浩 明</li> <li>○経済企画庁調整局経済協力第二課 本 名 一 夫</li> </ul>	
6) 計量標準	56. 1. 10. ~ 56. 1. 27	通 産 省	計量標準コース	フィリピン エジプト	3 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>○工業技術院計量研究所国際協力室長 岩 崎 晋</li> <li>○工業技術院計量研究所研究員 伊 藤 隆</li> <li>○国際協力事業団筑波インターナショナルセンター研修課職員 遠 藤 哲 也</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現地指導セミナー</li> <li>○スライド映写機及び変圧器 各1台</li> <li>○スライドフィルム 4編</li> <li>○英文資料 8種</li> </ul>
7) 農業協同組合	56. 1. 12. ~ 56. 1. 31	農 水 省	農業協同組合コース	ブラジル パラグアイ	3 名	○農水省経済局農業協同組合課課長 補佐 和 田 文 雄	

チ ャ ム 名	派 遣 期 間	関 係 省 庁	対 象 コ ー ス	訪 問 国 名	人 数	指 導 員 氏 名	備 考
						○アジア農業協同組合振興機関事務局長 田代 徹 ○国際協力事業団研修事業部研修第一課職員 岩崎 薫	
8) 環境行政・環境技術	56. 1. 21. ~ 56. 2. 9	環 境 庁	環境行政コース 環境技術コース	メキシコ ブラジル	3 名	○環境庁長官官房国際課総理府技官 佐藤 邦子 ○環境庁水質保全局水質規制課総理府技官 松井 佳己 ○国際協力事業団研修事業部研修第二課職員 浜崎 文彦	現地指導セミナー ○英文資料 50部 「Quality of the Environment in Japan」
9) コンピューター技術	56. 2. 9. ~ 56. 2. 24	科学技術庁	コンピューター技術コース	パキスタン シンガポール	3 名	○アジア・エレクトロニクス連盟企画室長 植田 健一 ○アジア・エレクトロニクス連盟嘱託 石川 宏明 ○国際協力事業団研修事業部研修第二課職員 町田 哲	現地指導セミナー ○キャノン電卓 4台 ○16ミリ映画フィルム 1巻 ○英文資料 「Electronics in Japan」 「Computer White Paper」
10) ハイウェイセミナー	56. 2. 17 ~ 56. 3. 6	建 設 省	ハイウェイセミナー	エジプト トルコ		○建設省道路局国道第二課課長補佐 藤原 稔	

チ ャ ム 名	派 遣 期 間	関 係 省 庁	対 象 コ ー ス	訪 問 国 名	人 数	指 導 員 氏 名	備 考
						<ul style="list-style-type: none"> <li>○国際協力事業団研修事業部研修第一課職員</li> <li>石 田 幸 男</li> </ul>	
11) 海運経営実務	56. 3. 5 ~ 56. 3. 20	運 輸 省	海運経営実務コース	マレーシア シンガポール	3 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本船主協会海運専門家</li> <li>渋谷 義 行</li> <li>○運輸省海運局外航課第二輸送係長</li> <li>西 村 光 徳</li> <li>○国際協力事業団研修事業部研修第一課職員</li> <li>梅 崎 裕</li> </ul>	
12) 麻薬犯罪取締セミナー	56. 3. 16 ~ 56. 3. 31	警 察 庁	麻薬犯罪取締セミナー	フィリピン インド	3 名	<ul style="list-style-type: none"> <li>○警察大学保安教養部長</li> <li>浜 田 栄 次</li> <li>○警察庁保安部保安課課長補佐</li> <li>山 田 高 廣</li> <li>○国際協力事業団研修事業部研修第一課職員</li> <li>鈴 木 徹 也</li> </ul>	現地指導セミナー

(2) 昭和45～54年度帰国研修員巡回指導実施実績

年 度	チ ャ ーム 名	派 遣 期 間	関係省庁	対 象 コ ー ス	国 数	訪 問 国 名	人 数
(1) 昭和45年度	(1) アジア農業班	46. 3. 3 ~ 3.23	農林省	家畜衛生コース 林業林産コース	3	マレーシア インドネシア フィリピン	3名
(2) 昭和46年度	(1) アジア中小工業班	47. 1.12 ~ 2. 3	通産省	窯業コース 鑄造コース 鍍金コース	5	マレーシア インドネシア フィリピン タイ シンガポール	5名
	(2) アジア電力班	46. 12. 5 ~ 12.28	通産省	水力発電コース 火力発電コース	4	マレーシア インドネシア フィリピン タイ	2名
	(3) 中南米電気通信班	47. 2. 1 ~ 2.28	郵政省	マイクロウェーブコース 搬送電話コース 電話線路コース 電話交換コース 短波無線コース テレックス通信コース 衛星通信コース 国際電信電話コース	7	メキシコ ペルー アルゼンティン ブラジル ボリビア コロンビア パラグアイ	3名
(3) 昭和47年度	(1) 中近東職訓機械班	47. 8. 8 ~ 8. 28	労働省	職訓指導員機械コース	5	タイ インド イラン トルコ エジプト	2名
	(2) アジア職訓木工班	47. 8. 8 ~ 8.28	労働省	職訓指導員木工コース	4	マレーシア シンガポール	2名



年 度	チ ャ ーム 名	派 遣 期 間	関 係 省 庁	対 象 コ ー ス	国 教	訪 問 国 名	人 数
	(6) アジア結核対策班	49. 2. 26 ~ 3. 21	厚生省	結核対策コース 結核外科コース	4	ウイエトナム インドネシア フィリピン タイ	3名
(5) 昭和49年度	(1) 中近東TV放送班	49.11. 11 ~ 12. 1	郵政省	TV技術コース TV教育番組コース TV放送管理コース	3	イラン トルコ バングラデシュ	3名
	(2) アジア沿岸 鉱物・地下水開発班	50. 2. 23 ~ 3. 18	通産省	沿岸鉱物資源コース 地下水開発コース	3	マレーシア インドネシア タイ	3名
	(3) アジアプラスチック 工 学 班	50. 2. 22 ~ 3. 15	通産省	プラスチック工学コース	3	タイ フィリピン シンガポール	3名
	(4) アジア沿岸漁業 水産研究班	50. 2. 25 ~ 3. 17	農林省	沿岸漁業コース 水産研究コース	4	スリ・ランカ マレーシア フィリピン シンガポール	4名
(6) 昭和50年度	(1) アジア犯罪防止班	50.12. 1 ~ 12. 21	法務省	刑事司法行政 犯罪防止コース 犯罪防止セミナー	3	マレーシア スリ・ランカ インド	3名
	(2) アジア麻薬取締班	50.12. 3 ~ 12. 24	警察庁	麻薬取締セミナー	4	韓国 シンガポール インドネシア	3名
	(3) アジア機械金属班	51. 1. 18 ~ 2. 7	通産省	金属加工 鑄造 金属表面処理 溶接	3	フィリピン インドネシア タイ	3名

年 度	チ ャ ーム 名	派 遣 期 間	関 係 省 庁	対 象 コ ー ス	国 数	訪 問 国 名	人 数
	(4) ア ジ ア 中 近 東 道 路 橋 梁 工 学 班	51. 2. 14 ~ 2. 19	建 設 省	ハ イ ウ ェ ー セ ミ ナ ー 橋 梁 工 学	3	タ イ イ ン ド イ ラ ン	3 名
	(5) 南 米 経 済 開 発 班	51. 2. 25 ~ 3. 14	経 企 庁	経 済 開 発 セ ミ ナ ー	3	ベ ル ア ル セ ン テ イ ン ブ ラ ジ ル	3 名
	(6) ア ジ ア 租 税 班	51. 3. 16 ~ 4. 2	大 蔵 省	租 税 セ ミ ナ ー 直 接 税 間 接 税	4	フ イ リ ビ ン マ レ イ シ ア シ ン ガ ポ ー ル 韓 国	4 名
(7) 昭 和 51 年 度	(1) ア ジ ア 鉄 道 信 号 電 化 高 速 運 転 班	51. 10. 13 ~ 10. 29	運 輸 省	鉄 道 信 号 鉄 道 電 化 高 速 運 転	3	タ イ イ ン ド ネ シ ア 韓 国	2 名
	(2) 中 近 東 ア フ リ カ 上 級 技 能 者 訓 練 班	51. 11. 18 ~ 12. 3	労 働 省	上 級 技 能 者 訓 練	3	エ テ ィ オ ピ ア エ ジ プ ト ス リ ・ ラ ン カ	3 名
	(3) ア ジ ア 国 家 行 政 地 方 行 政 班	51. 11. 24 ~ 12. 10	自 治 省	国 家 行 政 地 方 行 政	3	タ イ ネ パ ー ル マ レ イ シ ア	3 名
	(4) ア ジ ア 中 近 東 工 業 標 準 化 班	51. 12. 4 ~ 12. 19	通 産 省	工 業 標 準 化	3	フ イ リ ビ ン パ キ ス タ ン エ ジ プ ト	3 名
	(5) 中 近 東 電 気 通 信 班	52. 1. 27 ~ 2. 13	郵 政 省	電 気 通 信 幹 部 セ ミ ナ ー マ イ ク ロ ウ ェ ー プ 搬 送 電 話 路 電 話 線 路 換 電 話 交 換	3	イ ラ ク イ ラ ン ト ル コ	3 名
	(6) 南 西 ア ジ ア 調 査 班	52. 3. 5 ~ 3. 23	J I C A	-	3	バ ン グ ラ デ シ ュ パ キ ス タ ン	2 名

年 度	チ ャ ー ム 名	派 遣 期 間	関 係 省 庁	対 象 コ ー ス	国 数	訪 問 国 名	人 数
(8) 昭和52年度	(1) 日 墨 交 流 計 画 調 査 班	52. 7. 13 ~ 7. 31	J I C A	日 墨 コ ー ス	3	アフガニスタン メキシコ コスタリカ エルサルバドル	3 名
	(2) ア ジ ア 税 関 行 政 班	52. 8. 22 ~ 9. 6	大 蔵 省	税 関 行 政	2	韓 国 シンガポール	3 名
	(3) ア フ リ カ 郵 政 幹 部 班	52. 9. 5 ~ 9. 26	郵 政 省	郵 政 幹 部 セ ミ ナ ー 電 気 通 信 幹 部 セ ミ ナ ー	3	エジプト ケニア ガーナ	3 名
	(4) ア ジ ア 職 業 訓 練 指 導 員 養 成 班	52. 11. 6 ~ 11. 25	労 働 省	職 業 訓 練 指 導 員 養 成	4	シンガポール エジプト フィリピン	3 名
	(5) 中 近 東 ガ ン 対 策 早 期 胃 ガ ン 診 断 班	52. 11. 22 ~ 12. 9	厚 生 省	ガ ン 対 策 早 期 胃 ガ ン 診 断	3	インドネシア エジプト フィリピン	3 名
	(6) ア ジ ア 水 路 測 量 班	52. 11. 30 ~ 12. 15	運 輸 省	水 路 測 量 海 洋 物 理 調 査 航 路 標 識	2	タイ フィリピン	2 名
	(7) 南 米 中 小 工 業 開 発 班	52. 12. 9 ~ 12. 28	通 産 省	中 小 工 業 開 発 セ ミ ナ ー	3	ペルー ブラジル ブラジル	2 名
	(8) 南 米 水 力 火 力 班	53. 1. 25 ~ 2. 13	通 産 省	水 力 ・ 火 力 配 電 技 術 電 気 事 業 経 営	3	コロンビア アルゼンティン ブラジル	3 名
	(9) ア ジ ア 農 業 機 械 整 備 班	53. 2. 7 ~ 2. 22	農 林 省	農 業 機 械 整 備 粃 処 理 精 米 加 工	3	フィリピン インドネシア マレーシア	3 名

年 度	チ ャ ーム 名	派 遣 期 間	関 係 省 庁	対 象 コ ー ス	国 数	訪 問 国 名	人 数
	(10) 中近東電子工学班	53. 2. 27 ~ 3. 16	通 産 省	電 子 工 学	3	イ ラ ン シ ョ ル ダ ン フ ィ リ ピ ン	2 名
	(11) アジア野菜生産班	53. 3. 1 ~ 3. 16	農 林 省	野 菜 生 産 稲 作 普 及	3	ア フ ガ ニ ス タ ン ビ ル マ ス リ ・ ラ ン カ	2 名
	(12) アジア水質汚濁下水道班	53. 3. 9 ~ 3. 24	建 設 省	水 質 汚 濁 下 水 道	3	韓 国 フ ィ リ ピ ン イ ン ド ネ シ ア	2 名
(9) 昭和53年度	(1) 電 気 通 信 班	53. 8. 7 ~ 8. 24	郵 政 省	衛星通信技術(I)コース 衛星通信技術(II)コース 国際テレックス通信コース 電話交換技術コース 国際電信電話業務コース マイクロウェーブ技術(I)コース マイクロウェーブ技術(II)コース 搬送電話技術コース 電話線路技術コース 電話網計画設計コース 国際電話交換技術コース 中南米電気通信幹部セミナー	3	メ キ シ コ ホ ン デ ュ ラ ス グ ア テ マ ラ	4 名
	(2) 沿 岸 鉱 物 資 源 班	53. 8. 20 ~ 9. 6	通 産 省	沿岸鉱物資源探査コース	3	イ ン ド バ ン グ ラ デ シ ュ ビ ル マ	3 名
	(3) 貿 易 振 興 班	53. 8. 22 ~ 9. 9	通 産 省	貿易振興セミナー	3	ベ ル ー ブ ラ ジ ル ヴ ェ ネ ズ エ ラ	2 名
	(4) 消 防 行 政 班	53. 9. 10 ~ 9. 21	自 治 省	消防行政コース	2	マ レ イ シ ア シ ン ガ ポ ー ル	3 名

年 度	チ ャ ーム 名	派 遣 期 間	関 係 省 庁	対 象 コ ー ス	国 数	訪 問 国 名	人 数
	(5) 職 業 訓 練 班	53. 9. 21 ~ 10. 7	労 働 省	職 業 訓 練 セ ミ ナ ー 監 督 者 訓 練 セ ミ ナ ー	3	タ イ マ レ イ シ ア シ ャ ン ガ ボ ー ル	3 名
	(6) 観 光 班	53. 10. 3 ~ 10. 19	運 輸 省	観 光 セ ミ ナ ー	3	タ イ ス ー ダ ン ト ル コ	2 名
	(7) 織 布 技 術 班	53. 11. 20 ~ 12. 8	通 産 省	織 布 技 術 コ ー ス	3	バ ン グ ラ デ シ ュ イ ラ ク ト ル コ	3 名
	(8) 家 族 計 画 班	53. 11. 21 ~ 12. 2	厚 生 省	家 族 計 画 指 導 者 セ ミ ナ ー 家 族 計 画 広 報 セ ミ ナ ー 家 族 計 画 医 学 保 健 セ ミ ナ ー 家 族 計 画 組 織 活 動 セ ミ ナ ー	3	ス リ ・ ラ ン カ ネ パ ー ル バ ン グ ラ デ シ ュ	3 名
	(9) 稲 病 害 虫 防 除 班	54. 1. 10 ~ 1. 25	農 林 水 産 省	稲 病 害 虫 防 除 コ ー ス	3	タ イ イ ン ド ネ シ ア フ ィ リ ピ ン	3 名
	(10) 地 熱 エ ネ ル ギ ー 班	54. 1. 21 ~ 2. 7	文 部 省	地 熱 エ ネ ル ギ ー コ ー ス	3	エ ジ プ ト ト ル コ フ ィ リ ピ ン	3 名
	(11) 河 川 工 学 班	54. 1. 26 ~ 2. 10	建 設 省	河 川 工 学 コ ー ス	3	フ ィ リ ピ ン マ レ イ シ ア イ ン ド ネ シ ア	2 名
	(12) 船 舶 技 術 班	54. 2. 14 ~ 3. 1	運 輸 省	船 舶 技 術 コ ー ス	3	ビ ル マ シ ャ ン ガ ボ ー ル イ ン ド ネ シ ア	3 名

年 度	チ ー ム 名	派 遣 期 間	関 係 省 庁	対 象 コ ー ス	国 数	訪 問 国 名	人 数
(10) 昭和54年度	(1) 結 核 対 策	54. 9. 6 ~ 9. 21	厚 生 省	結 核 対 策 結 核 対 策 上 級 結 核 対 策 細 菌 技 術 者 指 導	3	フ イ リ ピ ン タ イ イ ン ド ネ シ ア	4 名
	(2) 木 材 工 業 機 械	54. 10. 15 ~ 10. 29	通 産 省	木 材 工 業 機 械	3	イ ン ド ネ シ ア シ ン ガ ポ ー ル マ レ イ シ ア	3 名
	(3) 日 墨 交 流 計 画	54. 10. 17 ~ 10. 29 // ~ 11. 6	外 務 省 通 産 省 J I C A	日 墨 コ ー ス	4	メ キ シ コ ブ ラ ジ ル チ リ ベ ル	4 名
	(4) 中 小 企 業 対 策	54. 11. 21 ~ 12. 6	通 産 省	中 小 企 業 対 策	3	タ イ フ イ リ ピ ン マ レ イ シ ア	2 名
	(5) テ レ ビ 放 送 技 術	54. 10. 29 ~ 11. 17	郵 政 省	テ レ ビ 放 送 管 理 放 送 幹 部 セ ミ ナ ー テ レ ビ 放 送 技 術 中 近 東 テ レ ビ 放 送 管 理	3	ケ ニ ア ガ ナ アラブ首長国連邦	3 名
	(6) 漁 業 協 同 組 合	54. 11. 22 ~ 12. 6	農 林 水 産 省	漁 業 協 同 組 合 沿 岸 漁 業 普 及	2	ケ ニ ア 象 牙 海 岸	2 名
	(7) 鉄 道 車 輛	54. 11. 27 ~ 12. 12	運 輸 省	鉄 道 車 輛 鉄 道 線 路 保 守 改 良	3	エ ジ プ ト ス ー ダ ン タ イ	3 名
	(8) 矯 正 保 護	55. 1. 21 ~ 2. 6	法 務 省	矯 正 保 護 刑 事 司 法 行 政 犯 罪 防 止 ( 上 級 )	3	イ ン ド ス リ ・ ラ ン カ バ ン グ ラ デ シ ュ	2 名

年 度	チ ャ ッ ム 名	派 遣 期 間	関 係 省 庁	対 象 コ ー ス	国 数	訪 問 国 名	人 数
	(9) 婦 人 関 係 行 政	55. 2. 17 ~ 2. 29	労 働 省	婦 人 関 係 行 政 セ ミ ナ ー	2	タ イ シ ン ガ ポ ー ル	2 名
	(10) 農 業 普 及	55. 3. 3 ~ 3. 18	農 林 水 産 省	農 業 普 及	3	イ ン ド ネ シ ア マ レ イ シ ア ネ ー パ ー ル	2 名
	(11) 上 水 道 施 設	55. 3. 15 ~ 3. 28	厚 生 省	上 水 道 施 設	3	イ ラ ク ト ル コ エ ジ プ ト	2 名
	(12) 都 市 計 画	55. 3. 24 ~ 4. 6	建 設 省	都 市 計 画	2	ブ ラ ジ ル ベ ー ル	2 名

2 文献供与事業

(1) 年度別文献供与部数実績表

文献名	51	52	53	54	55	対象研修分野
ルック・ジャパン (月刊 12回)	700	1,200	1,200	1,200	1,500	建設、重工業、鉱業、郵政、運輸、 厚生等の管理行政部門
ファーミングジャパン (隔月刊 6回)	450	800	800	1,100	1,100	農業、林業、畜産、水産の各分野
ジャパンエコノミックレビュー (月刊 12回)	200	500	550	1,200	1,200	経済、貿易、租税関係の分野
テクノクラート (月刊 12回)	500	1,000	1,200	1,100	1,100	建設、電軽工業、化学、鉱業、公 益事業、統計の各分野
合計	1,850	3,500	3,750	4,600	4,900	

## (2) 技術図書供与実績

分野	コース名	図書名	備考
医療・厚生・福祉	結核対策 結核対策(上級)	「Epidemiology」 「Tuberculosis」	60名(51年度～53年度コース参加者) 45名(同上)
郵便・通信・放送	テレビ放送管理 中近東テレビ放送管理	「NHK英文放送50年史」(英文) 「NHK英文放送50年史資料編」(英文)	21名(52年度～54年度コース参加者) 29名(同上)
開発計画	開発エコノミスト	「Japan Economic Development」 「Choices for Japanese Economy」	33名(53年度～54年度コース参加者)
経済・財政・金融	一般租税	「Asia's New Giant」	27名(54年度コース参加者)
経営技術	中小企業対策	「Evaluation of Policy for Changing Conditions」(JICAテキスト)	28名(51年度～52年度コース参加者)
労働	職業訓練セミナー 中近東職業訓練セミナー 上級技能者訓練 職業訓練指導員養成 (1)電気科コース  (2)電子科コース  (3)機械コース	「Labor Administration in Japan」 「Labor Administration in Japan」 「Mechanical Engineering」  「Electrical Engineers Handbook ; Electrical Communication & Electronics」 「Electrical Engineers Handbook ; Electrical Power」 「Transistor Circuit Design」 「Designing with TTL Integrated Circuit」 「Basic Integrated Circuit Engineering」 「Operational Amplifiers ; Designing & Applications」 「Job Sheet of Machining」	44名(51年度～54年度コース参加者) 57名(同上) 32名(同上)  38名(同上)  24名(同上)  36名(51年度～54年度コース参加者)

分野	コース名	図書名	備考
	(4) 運輸装置コース	「Machine-shop Training Text」 「Workshop Manual」; ① Nissan Bluebird ② Nissan Sunny ③ Small-sized Datsun Truck ④ Toyota Corolla-Engine ⑤ " " -Chasis ⑥ " " -Body ⑦ Land Cruiser-Engine ⑧ " " -Chasis ⑨ Hi-Lux - Engine ⑩ " - Chasis	26名 (51年度～54年度コース参加者)
軽工業	織物技術 繊維機械工業セミナー	「Modern Weaving Theory & Practice」	34名 (51年度～53年度コース参加者) 8名 (53年度コース参加者)
重工業	溶接技術 金属表面処理技術	「Ferrous Materials & Metallurgy」 「Non-Ferrous Materials & Metallurgy」	30名 (51年度～53年度コース参加者) 22名 (同上)
農林水産	沿岸漁業(理論) 沿岸漁業(実技) かんがい排水 稲栽培 野菜生産	「日本漁船図集」(英文) 「Irrigation and Drainage in Japan」 「Rice Cultivation for the Million」 「Guidebook for Development of Vegetable Horticulture with Capable Seed Production in the Monsoon Subtropics」	102名 (51年度～54年度コース参加者) 45名 (51年度～54年度コース参加者) 48名 (同上) 59名 (同上)
合計	23コース		

## IV 日本語研修・オリエンテーション実績

日本語研修は、技術研修上とくに日本語の修得を必要とする集団および個別研修コースの研修員を対象とする集中講座、および研修員全体を対象として日常生活の円滑化とわが国に対する理解を深めることを目的とする一般講座を東京国際研修センターをはじめ各国際研修センターで実施している。

また研修の一環として、技術研修に先立ち1週間のプログラムで、わが国の一般事情、研修および日常生活上の心得等について、主として、集団研修コースの研修員を対象として、オリエンテーションを東京国際研修センター、八王子国際研修センター、名古屋国際研修センターで実施している。

セ ン タ ー	日 本 語 研 修				オ リ エ ン テ ー シ ョ ン	
	集 中 講 座		一 般 講 座		実 施 回 数	参 加 人 数
	コ ー ス 数	参 加 人 数	ク ラ ス 数	参 加 人 数		
東 京	53	282	30	640	35	1,730
八 王 子	5	40	16	166	11	168
大 阪	4	29	10	79	—	—
名 古 屋	14	119	5	107	9	141
内 原	4	53	—	—	—	—
神 奈 川	6	71	1	25	—	—
兵 庫	5	42	7	54	—	—
筑 波	3	28	7	104	—	—
合 計	100	664	76	1,175	55	2,039

1 日本語研修

(1) 東京インターナショナルセンター

回数	研修コース	参加人数	実施期間
1	日墨沿岸漁業他	3	(1 / 7) 4 / 1 ~ 4 / 25
2	サウディ・アラビア職訓	3	(1 / 21) 4 / 1 ~ 4 / 4
3	日墨専門看護	5	(2 / 12) 4 / 1 ~ 4 / 30
4	日墨水産技術	9	(2 / 12) 4 / 1 ~ 5 / 30
5	日墨音波探知	4	(2 / 18) 4 / 1 ~ 5 / 30
6	日墨図書館学	1	(2 / 12) 4 / 1 ~ 4 / 30
7	ブラジル柑橘	1	(3 / 3) 4 / 1 ~ 4 / 11
8	日墨沿岸漁業普及・石油化学他	9	(3 / 17) 4 / 1 ~ 7 / 11
9	中止		
10	シンガポール空調	1	4 / 1 ~ 5 / 30
11	東北タイ職訓他	6	4 / 14 ~ 6 / 13
12	マレーシアプレス金型他	4	4 / 23 ~ 5 / 30
13	(集)家畜人工受精	5	5 / 6 ~ 7 / 4
14	ガイアナ窯業	1	5 / 9 ~ 5 / 30
15	ケニア職訓	2	5 / 12 ~ 6 / 27
16	マレーシアPUSPATI技術	3	5 / 12 ~ 7 / 31
17	シンガポール職訓	2	5 / 12 ~ 3 / 30
18	インドネシア養蚕他	8	6 / 3 ~ 7 / 4
19	日墨養殖他	4	6 / 23 ~ 10 / 31
20	(集)看護管理	10	6 / 16 ~ 7 / 2
21	(集)ラジオ放送技術	8	7 / 14 ~ 7 / 25
22	(集)テレビ放送技術 A	8	7 / 14 ~ 7 / 25
23	(集)テレビ放送技術 B	7	7 / 14 ~ 7 / 25
24	フィリピン・パーティクルボード	3	7 / 14 ~ 7 / 30
25	パキスタン皮革処理	1	7 / 28 ~ 8 / 22
26	(集)教育テレビ A	6	7 / 28 ~ 8 / 8
27	(集)教育テレビ B	6	7 / 28 ~ 8 / 8

回数	研修コース	参加人数	実施期間
28	インドネシア・スラウェシ職訓他	2	8 / 4 ~ 10 / 3
29	中国経営管理 A	9	8 / 6 ~ 8 / 13
30	中国経営管理 B	10	8 / 6 ~ 8 / 13
31	中央アフリカ建設機材	2	8 / 11 ~ 8 / 15
32	ブータン視聴覚教材他	9	9 / 16 ~ 1 / 16
33	インドネシア森林経営	1	9 / 1 ~ 10 / 3
34	パラグアイ林業他	5	9 / 22 ~ 1 / 16
35	ザイール橋梁	1	9 / 17 ~ 10 / 9
36	日墨専門看護 A他	10	10 / 6 ~ 12 / 26
37	日墨専門看護 B	8	10 / 6 ~ 12 / 26
38	(集)開発エコノミスト	5	10 / 13 ~ 10 / 31
39	日墨品質管理	10	11 / 17 ~ 2 / 13
40	パラグアイ職訓他	7	11 / 17 ~ 1 / 30
41	スワジランド探炭他	10	12 / 1 ~ 3 / 31
42	インドネシア建材開発	3	12 / 10 ~ 1 / 16
43	スリランカテレビ放送網 A	6	1 / 19 ~ 1 / 30
44	(集)船舶技術 A	8	1 / 19 ~ 3 / 13
45	(集)船舶技術 B	8	1 / 19 ~ 3 / 13
46	日墨水産技術他	10	1 / 19 ~ 3 / 31
47	ケニヤッタ農工大 A他	8	1 / 19 ~ 3 / 31
48	スリランカテレビ放送網 B	8	1 / 19 ~ 1 / 30
49	シンガポール職訓	4	1 / 19 ~ 3 / 31
50	ケニヤッタ農工大 B	5	2 / 16 ~ 3 / 31
51	ネパール家内工業他	4	2 / 16 ~ 3 / 31
52	ブルネイ養鶏他	8	2 / 26 ~ 3 / 31
53	モルディブテレビデザイン	1	3 / 2 ~ 3 / 31
	合計	282	

## (2) 八王子国際研修センター

回数	研修コース	参加人数	実施期間
1	職業訓練指導者養成	40	6 / 2 ~ 8 / 1

## (3) 大阪国際研修センター

回数	研修コース	参加人数	実施期間
1	(集) 上級技能者訓練	10	4 / 14 ~ 5 / 16
2	(集) 金型工作技術	6	4 / 15 ~ 5 / 10
3	(集) 貨幣及び勲章製造	5	4 / 15 ~ 5 / 16
4	(集) 医療放射線技術	8	12 / 25 ~ 1 / 30
	合計	29	

## (4) 名古屋国際研修センター

回数	研修コース	参加人数	実施期間
1	(集) 釉薬着色技術	7	4 / 10 ~ 5 / 9
2	(集) 金属表面処理技術	8	4 / 10 ~ 5 / 9
3	(集) 養鶏	8	5 / 12 ~ 6 / 9
4	(集) 鋳造技術他	12	5 / 13 ~ 6 / 30
5	(集) 溶接技術	10	6 / 12 ~ 7 / 10
6	(集) 工業開発計画実務	14	7 / 31 ~ 8 / 28
7	(集) 織布技術	10	9 / 1 ~ 9 / 30
8	(集) タイル製造技術	9	9 / 11 ~ 9 / 30
9	(集) 耐火物製造技術	10	10 / 1 ~ 10 / 30
10	(集) 窯業技術	7	10 / 2 ~ 11 / 14
11	(集) 金属加工	9	10 / 31 ~ 12 / 2
12	(集) 熱処理技術	11	1 / 22 ~ 2 / 3
13	日墨窯業技術	2	10 / 2 ~ 11 / 14
14	フィリピン窯業技術	2	10 / 2 ~ 11 / 14
	合計	119	

## (5) 内原国際農業研修センター

回数	研修コース	参加人数	実施期間
1	(集) 稲栽培	14	3 / 19 ~ 3 / 31
2	(集) 稲作機械化	13	3 / 19 ~ 3 / 31
3	(集) 灌漑排水	13	3 / 19 ~ 3 / 31
4	(集) 野菜生産	13	3 / 19 ~ 3 / 31
	合計	53	

## (6) 神奈川国際水産研修センター

回数	研修コース	参加人数	実施期間
1	54年度(集)沿岸漁業普及Ⅱ	13	4 / 1 ~ 6 / 10
2	54年度(集)養殖一般	10	4 / 1 ~ 6 / 10
3	(集)沿岸漁業普及Ⅰ	18	7 / 20 ~ 12 / 20
4	(集)漁業協同組合	8	7 / 20 ~ 12 / 20
5	(集)沿岸漁業普及Ⅱ	14	1 / 19 ~ 3 / 31
6	(集)養殖一般	8	1 / 19 ~ 3 / 31
	合計	71	

## (8) 筑波インターナショナルセンター

回数	研修コース	参加人数	実施期間
1	(集)家畜衛生研究	8	5 / 13 ~ 5 / 30
2	(集)沿岸鮎物資源探査	9	5 / 27 ~ 6 / 20
3	(集)地下水資源開発	11	9 / 2 ~ 9 / 19
	合計	28	

## (7) 兵庫インターナショナルセンター

回数	研修コース	参加人数	実施期間
1	(集)稲病害虫防除	11	6 / 11 ~ 6 / 24
2	(集)貿易実践指導者	12	9 / 10 ~ 9 / 16
3	(集)医科学技術	5	9 / 10 ~ 9 / 22
4	(集)農薬利用	6	1 / 20 ~ 2 / 13
5	(集)食品加工	8	1 / 24 ~ 2 / 15
	合計	42	

2 オリエンテーション

(1) 東京インターナショナルセンター

A プログラム

曜 日	時 間	科 目	講 師
月	10 : 00 ~ 12 : 00 14 : 00 ~ 16 : 00	JICA概要説明 よりよい滞日生活のために	TIC業務課 国際交流サービス協会専務理事・横山総三、同協会国際部長・吉田弘
火	10 : 00 ~ 12 : 00 14 : 00 ~ 16 : 00 16 : 20 ~ 19 : 00	日本の言葉 日本の人文地理 生花紹介	元上智大学講師・森清 青山学院大学経済学部長・西岡久雄、同大学経済学部教授・小林望 草月流師範会理事・前田鶴子 他2名
水	10 : 00 ~ 12 : 00 14 : 00 ~ 16 : 00 16 : 20 ~ 17 : 20	日本の経済 日本の行政機構 日本紹介映画	経団連国際経済部長・三好正也、経団連国際経済部・市川博也・森田雅祥、経団連秘書室・中村芳夫、経団連調査役・藤原膳博 東海大学学生部長・山口房雄、同大学助教授・宇都宮深志 映写技師・志水淑子
木	10 : 00 ~ 12 : 00 14 : 00 ~ 16 : 00 16 : 20 ~ 17 : 20	日本の文化史 日本の教育 TIC概要説明	都立大学文学部助手・坂本美樹雄、早稲田大学教授・池田百合子 東京工業大学助教授・原芳男 TIC業務課
金	9 : 00 ~ 13 : 00	都内見学（明治神宮・尾崎記念公園・皇居）	

B 実施回数

回数	実施期間	参加人数	研修コース	回数	実施期間	参加人数	研修コース
1	4 / 7 ~ 4 / 11	75	矯正保護、貨幣及び勲章、建設機械整備、電話交換、金属表面処理、上級技能者訓練、金型工作技術、酵素工学、個別	18	9 / 1 ~ 9 / 5	82	刑事司法行政、衛星通信技術(上級)、国際テレックス通信技術、配電技術、貿易実践指導者、穀処理精米加工、個別
2	4 / 12 ~ 4 / 18	15	地方行政、微生物病研究、個別	19	9 / 8 ~ 9 / 12	144	海運経営実務、建設施工、森林造成技術者、水質汚濁下水道、雇用開発セミナー、国家行政船舶技術、地震工学、地熱エネルギー、マイクロウェーブII、インダストリアルデザイン、電気電子計量標準、個別
3	4 / 28 ~ 5 / 2	13	家畜人工受精、個別	20	9 / 16 ~ 9 / 20	35	環境技術、医科学技術、オフセット印刷、精神薄弱福祉、個別
4	5 / 6 ~ 5 / 10	95	国際電信電話業務、衛星通信技術、港湾工学、家畜衛生研究、農業普及、搬送電話技術、水路測量、水産研究、個別	21	9 / 22 ~ 9 / 27	69	地下鉄道工学、コンピューター技術、統計工、輸出入食品検査技術、個別
5	5 / 12 ~ 5 / 16	78	貿易振興セミナー、監督者訓練セミナー、農業協同組合、リモートセンシング技術、火力発電、水力発電、観光セミナーA、個別	22	9 / 29 ~ 10 / 3	96	水産統計、麻薬犯罪取締セミナー、関税行政セミナー、個別
6	5 / 19 ~ 5 / 23	41	上水道施設、沿岸鉱物資源探査、個別	23	10 / 6 ~ 10 / 11	79	婦人関係行政セミナー、防災技術セミナー、労働安全衛生行政セミナー、電気事業経営、中近東電力、気象学、開発エコノミスト、消防行政、個別
7	5 / 26 ~ 5 / 30	44	船路標識、鉱山、稲病虫害防除、個別	24	10 / 13 ~ 10 / 17	40	ハイウェイセミナー、交通警察行政、工業所有権制度、個別
8	6 / 9 ~ 6 / 13	23	電話線路技術、個別	25	10 / 20 ~ 10 / 24	40	鉄道電化高速運転、船員教育行政、観光セミナーB、総合都市交通施設計画セミナー、個別
9	6 / 16 ~ 6 / 20	62	鉄道線路保守改良、測量技術、農業機械整備、結核対策、計量標準、個別	26	10 / 27 ~ 10 / 31	122	港湾セミナー、早期がん診断、電話網計画設計、がん対策、結核対策細菌技術指導者、住宅建設、借款手続セミナー、個別
10	7 / 7 ~ 7 / 11	62	沿岸漁業普及I、テレビ放送技術、漁業協同組合、ラジオ放送技術、マイクロウェーブ通信技術、個別	27	11 / 10 ~ 11 / 14	32	海洋物理調査、建設行政セミナー、プラスチック、個別
11	7 / 14 ~ 7 / 18	21	農地水資源開発、個別	28	11 / 25 ~ 11 / 29	14	個別
12	7 / 21 ~ 7 / 25	30	教育テレビ番組、鉄道車輛、都市交通セミナー、個別				
13	7 / 28 ~ 8 / 1	38	都市計画、河川工学、生活改善普及、個別				
14	8 / 4 ~ 8 / 8	11	洪水防衛、個別				
15	8 / 11 ~ 8 / 15	11	鉄道材料試験検査、個別				
16	8 / 18 ~ 8 / 22	18	電話交換技術、個別				
17	8 / 25 ~ 8 / 29	46	工業標準化、地下水開発、橋梁工学、個別				

回数	実施期間	参加人数	研修コース
29	12 / 8 ~ 12 / 12	7	医療放射線技術
30	1 / 12 ~ 1 / 17	125	ガラス工学、中小企業対策、沿岸漁業普及II、 船舶技術、包装技術、認証検査制度、農業利用、 養殖一般、食品加工、個別
31	1 / 19 ~ 1 / 23	25	個別
32	2 / 2 ~ 2 / 6	14	国土開発セミナー、個別
33	2 / 9 ~ 2 / 14	28	鉄道信号、個別
34	3 / 2 ~ 3 / 6	21	石油化学工業、個別
35	3 / 23 ~ 3 / 27	74	稲栽培、稲作機械化、野菜生産、灌漑排水、個 別
	合計	1,730	

## (2) 八王子国際研修センター

## A プログラム

プログラム	講師名
1. JICA・HITC概要説明	センター職員
2. 日本事情講義	
(1) よりよい滞日生活のために	横山総三、宮島 喬
(2) 日本の教育	原 芳男、横瀬多喜
(3) 日本の行政機構	宇都宮深志、山口房雄
(4) 日本の文化史	池田百合子、坂本美樹雄
(5) 日本の経済	古谷 勉、佐瀬 徹、福田 靖
(6) 日常生活の諸注意	石川 譲
(7) 日本の自動車産業	坂元宗則
(8) 日本語概論	石川 宏
(9) 日本の文化と社会	グレン・フック
3. 「ことばと生活」講義	星野和子
4. 都内見学	フィード・インストラクター (金子文男、永瀬寿夫、福江龍夫、羽鳥成一郎、 白田尚道)
5. 日本紹介映画	映写技師

## B 実施回数

回数	実施期間	参加人数	研修コース
1	5 / 13 ~ 5 / 17	11	テレビ放送管理
2	5 / 27 ~ 5 / 30	40	職業訓練指導者養成
3	7 / 8 ~ 7 / 11	27	開発エコノミスト・労働統計
4	8 / 12 ~ 8 / 16	9	電波監視
5	9 / 2 ~ 9 / 5	23	租税セミナー
6	10 / 7 ~ 10 / 10	9	労使関係職訓セミナー
7	10 / 14 ~ 10 / 17	14	職訓セミナー
8	11 / 22 ~ 11 / 24	12	衛生行政セミナー
9	1 / 13 ~ 1 / 16	6	中近東テレビ放送管理
10	1 / 19 ~ 1 / 22	9	バス・トラック整備技術
11	2 / 21 ~ 2 / 24	8	中近東職訓行政セミナー
	合 計	168	

## (3) 名古屋国際研修センター

## A プログラム

プログラム	講師名
1. JICA・NITC概要説明	センター職員
2. 日本人と日本人社会	東海テレビニュースキャスター 西沢信正
3. 日本文化と歴史	南山大学外国語学部長 西脇 博
4. 日本の社会と教育	名古屋大学教授 潮木守一
5. 日本の経済発展	愛知大学教授 木村憲二
6. 近郊企業等見学	ブラザー工業、トヨタ自工、サッポロビール、三洋電機、 名港管理組合、日本陶器

回数	実施期間	参加人数	研修コース
1	4 / 8 ~ 5 / 9	12	中小工業開発セミナー
2	4 / 10 ~ 5 / 9	8	金属表面処理他
3	4 / 10 ~ 5 / 9	8	袖染着彩他
4	5 / 7 ~ 6 / 10	10	木材工業、機械
5	5 / 12 ~ 6 / 9	8	養鶏
6	5 / 12 ~ 6 / 23	12	鋳造技術他
7	6 / 12 ~ 7 / 10	10	溶接技術
8	7 / 31 ~ 8 / 28	14	工業開発計画実務
9	9 / 1 ~ 9 / 30	9	タイル製造技術
10	9 / 1 ~ 9 / 30	10	織布技術
11	10 / 1 ~ 10 / 30	10	耐火物製造技術他
12	10 / 2 ~ 11 / 14	8	窯業技術
13	10 / 31 ~ 12 / 2	10	金属加工他
14	1 / 22 ~ 2 / 3	2	電気製鋼技術他
	合計	141	





JICA